

現在92歳の祖母と
23歳で亡くなった祖父
あの世で再会した時の2人の年齢は？



●Answer

沖縄市・コザ山 球陽寺 前住職
帰依 龍照 (きえ りゅうしょう)

Q 私の92歳の祖母は、お正月とお盆になる

といつも「ワンが亡くなったとき、オジイがハジカサーしないかね〜？」が口癖です。私たちはみんなで「大丈夫よー」とは言うものの、祖父は戦争で亡くなっているの、祖母夫婦がお年寄りと思いませんか。うちの祖母を安心させてあげるよいアドバイスをお願いします。

(糸満市・Kさん)

A

Kさんのおばあ様の年齢は現在92歳、おじい様が亡くなられた年齢は23歳。だとすると、お二人の年齢差は69歳ということになりますね。おじい様もそうですが、もしかしたらおばあ様の方が恥ずかしがられるかもしれません。おばあ様のお気持ちも少しでも軽くなりますよう、様々な観点から一生懸命ご回答させていただきます。

西方極楽浄土とグソー

沖縄のお仏壇やお墓に纏(まつ)わる年齢の考え方については、色々な観点からの解釈があると思います。今回のポイントとして、おばあ様の「ワンが亡くなったとき、おジイがハジカサーしないかね〜」とのお言葉は、専門家として実に興味深いといえますが、まさに研究の対象です。と同時

に、とても心が温まる思いもします。

沖縄の舞踏念仏踊りであるエイサーの祖、袋中上人(たいちゅうしょうにん)の『琉球神道記 第4巻』には、阿弥陀(あみだ)という如来(によらい)のことが丁寧に記されています。この阿弥陀の仏国土(仏の国)のことを、阿弥陀経では西方極楽浄土といい、沖縄のグソー(後生)という世界観とも共通する点が多々あります。このお経には、他にはない独自の考え方として、御文(ごもん)に「諸上善人(しよじょうぜんにん)俱会(くわい)処(くわいじょ)」という文章があります。

諸上善人 俱会処

「諸上善人 俱会(くわい)処(くわいじょ)」を概ね意識しますと、「この世で生き別れても、仏の国では、また愛しい人や大切な人と再会することができる」という意味になります。私は、実父、義父、義母、養父を亡くしていますが、これらの愛しい人や大切な人と再び会うことができるといふこの考え方が日々、私の心の支えになっています。Kさんのおばあ様は、このような考え方をもしかししたら沖縄の年中行事など、先輩方からのジンプン(知恵)や実体験で記憶に留められているのかもしれないですね。少なくとも、おじい様とグソーで再び会えるという安心や喜

びの中からの心配ごとなのかもしれません。この上善人とは、成仏して再会するとの意味もありますので、夫婦がお互い仏となり、色々な諸問題を調整し超越すると考えて差し支えないでしょう。もちろん、そこにはお互いの年齢も問題とはならないことでしょう。

ミートウンダヤカーミヌチビティーチ

沖縄の心にしみる格言に、「ミートウンダヤカーミヌチビティーチ(夫婦は骨髄(こつがめ)の尻(しつ)つ……夫婦は生涯を共にする)」があると習いました。初めて耳にしたとき、「夫婦愛和」の教訓と、感動したことを覚えていました。

回答をまとめましょう。おばあ様の年齢が92歳ということは、大正14年か15年生まれになるでしょう。また、おじい様は、昭和20年の23歳でお亡くなりになられていると仮定すると、大正11年か12年生まれになるでしょう。そうすると、お二人の年齢差はおそらく3歳くらいかと思われます。

おじい様の年齢から考えたときのアドバイス

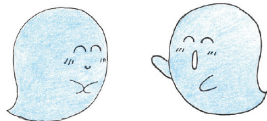
Kさんからおばあ様へ「おじいちゃんとお会ったのは何歳くらいときき？」と尋ねてあげるのもよいかもしれません。仮に「18歳のとき」とか「19歳のとき」とのお返事が

ありましたら「大丈夫よー、おばあちゃんがおじいちゃんとお会った最初の年齢でまた会えるつてよー」とさりげなくおばあ様が安心できる言葉をお伝えいただければと思います。

おばあ様の年齢から考えたときのアドバイス

また、おばあ様が92歳、プラス3歳でおじい様の年齢が95歳になるとも考えられますので「大丈夫よー、おじいちゃんはグソーでもうすぐカジマヤー(風車祭)だから、おばあちゃんも私たちのために長生きしてねー」とおばあちゃん孝行していただければ良いでしょう。

カジマヤーは長寿を敬いつつ、年齢を超越した童心に戻れる年中行事でもあります。おばあ様のおじい様を想う愛情も永遠でしょう。私もそのような夫婦でありたいと、Kさんのご質問に心から感動させていただきました。



ワンの分まで
よくがんばったさー
ありがとーね!!

絵 帰依 033

